

1) テーマ「地域に触れて、感じて、考えて学ぶ」

2) カテゴリー: ②教育内容(臨地実習)

3) 学校概要: 学校名: 奈良県病院協会看護専門学校 所在地: 奈良県橿原市大久保町 454-10

課程名: 看護専門課程 1 学年定員数: 40 名 就業年限: 3 年

人間は本来地域で生活しており、その人なりの暮らしがある。生命・健康・暮らしを支える看護者は、暮らしの基盤である地域を理解し、人々の暮らしを理解する必要がある。そこで、地域・在宅看護論実習では人々の暮らしの場で行われる看護を学び、地域で生活する人々とその家族の健康と暮らしを継続的に支援する能力を養う実習とする。地域を理解する第1段階として、1年次の病院実習前に暮らしの場を知る実習を行う地域・在宅看護論 I を設定した。

本校は奈良県橿原市に所在し、周辺には万葉集にも出てくる大和三山や歴史ある神社や史跡が多くある。また、公的施設も多い地域で、高度医療を提供する特定機能病院や救急医療を担う病院、保健センター、訪問看護ステーションや福祉施設などの保健体制が整った地域にある。そこで学校周辺の地区踏査や地域住民へのインタビュー、グランドゴルフ等のコミュニティの参加などを通して住民の人々の暮らしぶりを知る。同時に奈良県の南部に位置する川上村、天川村の過疎地域の地区踏査、隣家ははるか遠くにある家に暮らす高齢者宅への訪問、階段 100 段くらいある山の中腹の家までの宅配のお手伝い、さらに、過疎地域で活躍するコミュニティナースと共に健康チェックなどを通して、そこに住む高齢者とコミュニケーションをとりながら生活に触れ、多様な価値観を感じ取る。そして健康と暮らしを支える取り組みを考え、楽しく学ぶ実習を行っている。



過疎地に住む高齢者とふれあい、インタビューをする学生



背負子で荷物を背負って、100 段先の家へ届ける学生

・実施した感想

この実習で、そこに暮らす人々にふれあい、様々なライフステージの方の生き方を知り、元気に生きる人々の強さを感じ、笑顔をいっぱい頂いた。また、交通の不便や病院がない等の生活する上での不便などを知り、それでもこの地に住む工夫や多様な価値観や生き方を学んだ。また、そこでの暮らしを支える看護を考えることができた。そして、奈良県の良さを改めて感じ、地元への愛を深める実習となった。



グランドゴルフに参加し笑顔いっぱいの学生